

## 長期対応に関する検討進捗報告

長期的な目標であるフルフラットバスを検討するための材料として連節バス「シター口」の見学会を開催した。また、日本バス協会から業界でイメージしているフルフラットバスの例が提供された。

### 1. シター口見学会

神奈川中央交通（株）の協力を得て、「厚木バスセンター⇄厚木アクスト」間で現用中のメルセデス社製連節バス「シター口」の見学会を8月3日に開催した。参加者はバスWGメンバーおよびバスメーカー関係者であり、総勢約30名であった。

このバスは、連節部より前半はほぼ完全なフルフラットとなっていたが、後半はエンジンや補機類の関係で図1のようにスロープや段差が生じている。なお、現在検討中のフルフラットバスは連節ではなく単車であるため、この後半部分が参考になるものと思われる。

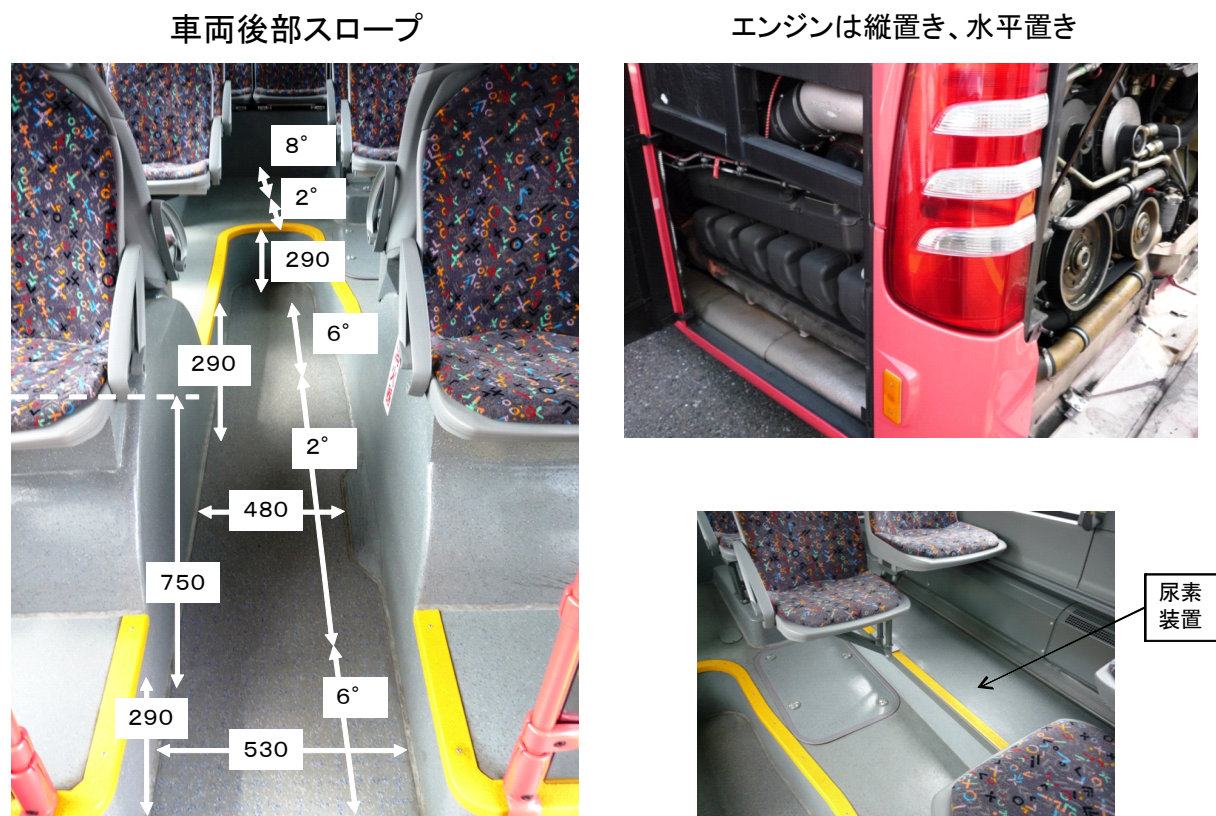


図1 後半部分のスロープや段差

### 2. バス事業者がイメージするフルフラットバス

日本バス協会より、バス事業者がイメージする欧州のフルフラットバスの例として図2の写真が提供された。



図2 フルフラットバスのイメージ例（日本バス協会提供）

### 3. 今後の予定

上記図1に対しては、「作りは大変良いが、基本的には日本が97年頃に販売したフルフラットと大差がない」とか、図2に対しては「後扉乗降のバスが日本でも受け入れられるのか」と言った意見が出されており、今後さらに多くの事例を参考に日本における望ましいフルフラットバスのあり方を検討する予定である。